崇徳 攻めて初戦突破

▽男子1回戦
崇徳（広島）2（25、25、23、19）0 高知

崇徳は堅実なレシーブから攻撃を組み立てるスタイルでゲームを制した。

▲崇徳―高知【第1セット、スパイクを放つ崇徳・樋内竜也①＝武蔵野の森総合スポーツプラザ】

しかし中盤、相手のサーミスなども絡み、岡野健生（2年）のパワフルな速攻や、樋内竜也（3年）の力強いスパイクなどで猛攻を開始。攻撃陣が躍動し、時間差攻撃も随所で織り交ぜて、相手を突き放した。

第2セットは序盤にブロックで相手の攻撃を効果的に阻む。中盤には相手のサービスエースなどでリードを許すが、攻撃の手を緩めることなく、強打や速攻ですかさず同点に。高山智也（3年）や樋内が敵陣に破壊力のあるスパイクを打ち込むなど鋭い攻撃を繰り出し、高知を振り切った。

崇徳・本多洋監督「押される場面もあったが、時間差攻撃が要所で決まった。ブロックも効果的に機能していた」

第1セットは高知のライン際を狙う強打などにてこずり、4点を追う展開に。

就実 底力発揮し完勝

▽女子1回戦
就実（岡山）2（25、25、20、23）0 富山第一（富山）

ジャパネット杯「春の高校バレー」第71回全日本バレーボール高校選手権大会は5日、武蔵野の森総合スポーツプラザ（東京都調布市）で開幕、男女の1回戦40試合が行われた。広島県代表の男子・崇徳は高知、女子・沼田は秋田北（秋田）、岡山県代表の男子・岡山東商は札幌藻岩（北海道）、女子・就実は富山第一（富山）をそれぞれストレートで下した。6日の2回戦で崇徳が開智（和歌山）、沼田が富士見（静岡）、岡山東商が洛南（京都）、就実が福工大城東（福岡）と対戦する。

▽男子1回戦
岡山東商（岡山）2（25、15、25、15）0 札幌藻岩（北海道）

▽女子1回戦
沼田（広島）2（25、25、23）0 秋田北（秋田）

ペースをつかむ。終盤は平田らの攻撃が立て続けに決まり、最後は主将の岡崎澪華（2年）の強打で試合を締めた。

就実・西畑美希監督「ミスが出ても、相手のペースに飲まれず要所で攻撃ができた。緊張しても自分たちのバレーができた」

るも、大賀みるく（1年）の正確なアタックなどが決まりやむ、一挙に5得点と

「日本一早い」豆まき

福山城、和太鼓演奏も披露

「日本一早い」と銘打った豆まき「福まき」が5日、広島県福山市の福山城で開催された。

天守閣前広場で催された。年末から続けて開かれているイベントで、一昨年から始まり、今年で3回目を迎えた。

特設ステージからまかれた「福豆」は、豆菓子を中心に製造、販売している地元の「徳永製菓」が提供。金粉でコーティングしたものやイセエビ味など「縁起の良い」豆菓子1万袋が、2回に分けてまかれた。地元で活動する和太鼓グループの演奏やデザイン書家によるパフォーマンスなども披露され、集まった市民らが楽しんだ。

イベントの世話役を務める徳永製菓の上迫豊社長は「年を追うごとに来場者も増えており、今年は地元商店街の協力で商品券が入った『当たり』の豆も加えた。2年後の福山城築城400年に向けて、さらに盛り上がるイベントに育てていきたい」と意欲を語った。

▲福山城天守閣前で催された「日本一早い」豆まき＝広島県福山市

龍馬にファンから年賀状

新年の誓いや思いつづる

あのまちニュース　高知から

「前向きに突き進む」

幕末の志士、坂本龍馬のファンが新年の誓いや熱い思いをつづった龍馬宛ての年賀状がありたいです。60歳、はじけるのはこれからだ！」と意気込みをつづった。

居いたはがきは記念館にあるタイムカプセルに10年間保管。2029年3月下旬に開封し、送り主がまだ生存していれば返却する。

高知市に帰省中で、配達式に家族と訪れた横田佳明さん（46）＝横浜市＝は「元日からこんなにやかで楽しいです。高知らしさを感じました」と笑顔を見せた。

坂本龍馬宛ての年賀はがきを受け取る高知県立坂本龍馬記念館の高松清之館長（右）＝1日、高知市

1月
恐れず根気よく努力を続けると、物事が良い方向に

2月
エネルギッシュに活動できる。思う事動いて

3月
予想外の展開でラッキーが。自分の心に浮んだ天の声

4月
周りの風向きはアドバイスを。先に進む生活を

[illegible]
[illegible]
[illegible]